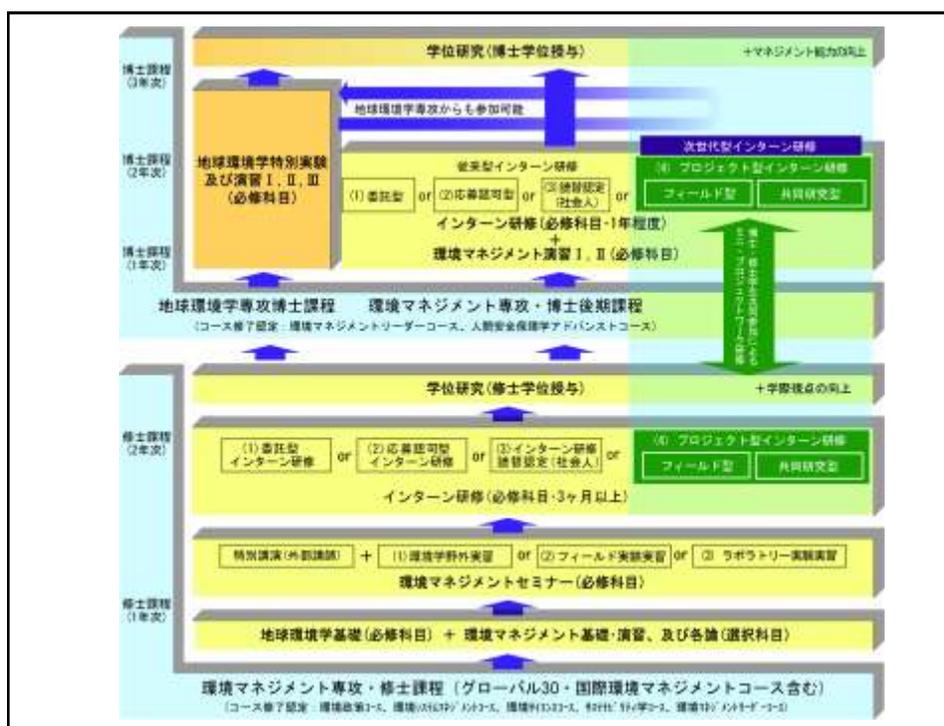


地球環境学堂・学舎における教育の特徴

- 地球・地域環境問題の解決に貢献できる人材(研究者、実務者)の育成
 - 学際・文理融合
 - 必修科目4科目をはじめとする英語講義 (修士)
 - 長期インターン研修 (博士の一専攻と修士)



地球環境学堂・学舎におけるFDの取り組み

- **授業評価アンケート**（全講義科目対象、文理融合ゆえの特徴的な質問も含む）
 - 各教員にフィードバック
- **修了生アンケート**（修了時に全学生対象）
 - 教務委員会、研究科会議でフィードバック
- **修了後数年経過後のアンケート**（修了生ならびに上司を対象におおよそ3年ごとに実施）
 - 教務委員会、研究科会議でフィードバック
- **FDワークショップ**（11月29日開催）

FDワークショップ(11/29開催)の概略と成果

- 参加者16名、所要約3.5時間
- J. Singer特定准教授と水野特定准教授が担当
 - 学舎教員の前期講義科目を聴講(Singer准教授)
- 語学力、専門分野の異なる学生集団に対する教育効果の向上をめざして：
 - 一般的な問題(英語表現、資料提示方法等)の整理と、効果的・多様なlearning methodsの提案
 - コミュニケーション・エクササイズによる問題の把握
 - グループディスカッション&プレゼンテーションによる問題の分析とソリューションの提示
- 成果
 - 簡単に解決できる課題ではないが、教員間で各自の問題意識や行っている工夫について共有が図られたことの意味は大きい。
 - カリキュラム改善など、組織的な取り組みに向けた議論のきっかけができた。
 - 今後も、より多くの教員を対象とした機会提供を進める

